

写 真 图 版



遺構検出状況



遺物出土状況



完掘状況



溝状遺構土層堆積状況



遺物出土狀況 1



遺物出土狀況 2



遺物出土状況3



遺物出土状況4



遺物出土状況5



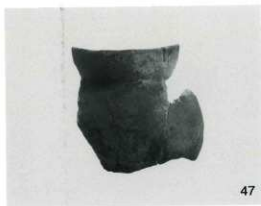
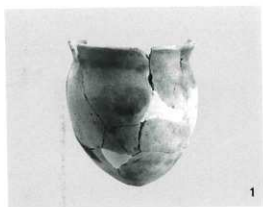
遺物出土状況6



遺物出土状況7

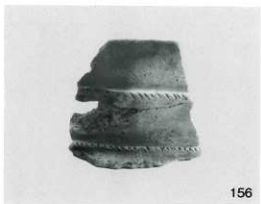
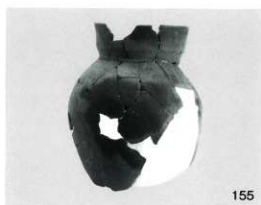


発掘調査体験

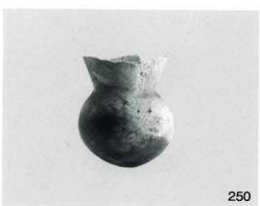


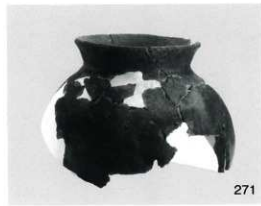


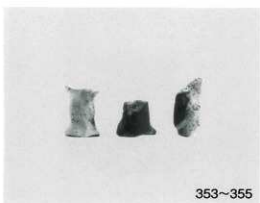
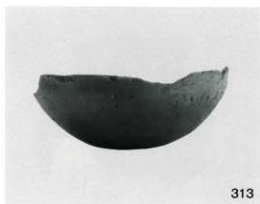


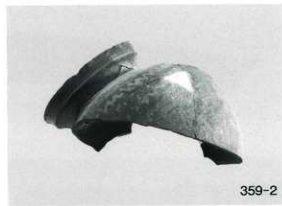
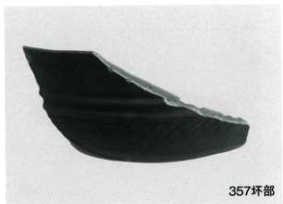


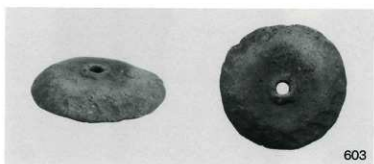
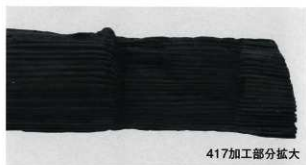
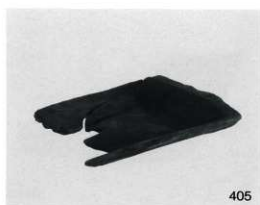












報告書抄録

ふりがな	しづりいせき							
書名	志津里遺跡							
副書名	県道玖珠山国線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)							
巻次								
シリーズ名	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第61集							
編著者名	友岡信彦							
編集機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター							
所在地	〒870-1113 大分市大字中判田1977 Im.097-597-5675							
発行年月日	2012年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
しづりいせき 志津里遺跡	くまもと県玖珠郡玖珠町大字 おおいの字志津里 太田字志津里	218	117	33° 18' 56"	131° 8' 17"	20101108 ～ 20101214	362㎡	県道玖珠山国線 道路改良工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
志津里遺跡	集落	弥生時代 古墳時代	溝状遺構	弥生時代 甕、木製品 古墳時代 壺、甕、高坏				
要約	<p>志津里遺跡の調査は面積約360㎡で、調査区を北西から南東に横断するように溝状遺構を確認した。</p> <p>この溝状遺構は、調査区内で長さ約18m、幅5～7m、深さ約1.0～1.2mであり、調査区のほぼ1/3の面積を占めている。</p> <p>確認された遺構は、この溝状遺構と、圃場整備前の水路3条であった。</p> <p>溝状遺構内からは、多量の土器と伴に、三つ又鍬や杵等の木製品が出土している。</p> <p>溝状遺構の利用時期は、出土した土器や埋土等の堆積状況からからおおよそ2時期に別けられる。当初は弥生時代終末～古墳時代初頭にかけて使用されている。その後、古墳時代前期中頃～中期前半頃に使用されたと思われる。</p>							

志 津 里 遺 跡

県道玖珠山国線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)
大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第61集

平成24年3月30日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター
〒870-1113 大分市大字中判田1977番地
TEL (097) 597-5675

印刷 元厚印刷株式会社
〒876-0811 佐伯市鶴谷町3丁目1番9号
TEL (0972) 24-0900